

2018年3月11日 主日礼拝 (東日本大震災7周年記念礼拝)

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌472番「人生の海の嵐に」
(花咲く野原のように) (アーメン・主にハレルヤ)

使徒信条

聖 書 ヨハネによる福音書 14章30～31節(p.166)

証 し 千葉洋平宣教師・葉子姉

音 楽 J.Plus Gospel Choir

メッセージ「^{アライズ}Arise～最後の説教シリーズ2」 倉知契副牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金・東日本のため)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「わたしはあなたがたを見捨てたり、孤児のように置き去りにしたりすることなどありません。必ずあなたがたのところに帰って来ます。」
(ヨハネ十四の十八 リビングバイブル)

【町田ニュース】

- ・ 東日本の被災された方々とそこご家族の上に、天よりの恵みと慰めを祈ります。本日の献金は東日本の義援金として捧げられます。
- ・ 本日午後、弟子学校があります。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜・木曜朝はビリーグラハム師(V)と大川先生、金曜夜は梅津義信伝道師。
- ・ 土曜、午後4時半から祈り会。主の臨在溢れる祈り会です。
- ・ 来週は弟子学校があります(オープンセル実行 I 7課・暗唱聖句 A4～A6)。
- ・ 次回のオープン礼拝は4月1日「春のイースター特別礼拝」です。
- ・ 今週も宿題に従って、聖書通読・Q.T.しましょう。



畑の中の宝物

<コントロールできないタイミングがある。時の流れを受け入れて従おう>
都会の空調のきいたオフィスでスケジュールに従って仕事をこなしていると、「時は自分で管理するもの」という感覚を持つようになる。3カ月後までにこのプロジェクトを完成させる。そのために1カ月後までにここまでやる必要がある。さらにブレークダウンすると、来週中にここまで。だから今日のノルマはこれ、という具合。これはこれで悪くない。

しかし、人は自分が生まれる時も死ぬ時もコントロールすることができない。植物を植える時、収穫する時は、人が決めるのではなく、自然に聞かなくてはいけない。

病気になる時があり、回復する時がある。これは人の力が及ばない「時」だ。天の下の出来事には、すべて定められた時がある。人がタイミングをコントロールできるのは、実はわずかなことだけ。

仕事でもプライベートでも、どんなに厳密にスケジュール管理をしても、どうにもならないことがある。きっと、今はその「時」ではないのだ。

そんな時はいらだたず、天のタイミングを待とう。

「天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。生るに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり、殺すに時があり、いやすに時があり、こわすに時があり、建てるに時があり、泣くに時があり、笑うに時があり、悲しむに時があり、踊るに時があり、」(伝道者の書3の1～4)

(「聖書88の言葉」中村芳子著より)

東日本大震災から7年が経ちました。テレビで津波のため親や子、妻・夫を失った方の歩みを見ますと、自分と重なってきて涙を抑えることができません。

その7年という時の中で、新たな歩みだしをされている方々を知り、励ましを受けました。すべてのマイナスは、キリストに出逢う時、プラスに変えられます。意味のない苦しみはありません。希望の源なる神の御手に人生をゆだねましょう。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: マルコ13章～16章 Bコース: 申命記14章～30章